令和5年度(2023年度) 事業報告

2023. 4. $1 \sim 2024.$ 3. 31

事業報告

はじめに

- 1. 広域連携事業
- Ⅱ. 旅行商品流通環境整備事業
- Ⅲ. 調査・マーケティング事業
- IV. 観光再始動事業
- V. その他自主事業
- VI. 会議・セミナー活動
- Ⅶ. 庶務関係

はじめに

2023年度事業では、都県と連携して行う広域連携事業や観光庁の国庫補助事業である「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」、「観光再始動事業」などを活用した事業を行った。

表 1 2023 年度の実施事業の件数 (事業分野別)

事業分野	- 広域連携事業	■ 旅行商品流通環境整備事業	Ⅲ 調査・マーケティング事業	Ⅳ 観光再始動事業	V その他自主事業	合計
2023 年度申請事業数	5	2	1	1	1	10

1. 広域連携事業

訪日観光客に対し強力なブランド力を持つ「東京・TOKYO」をハブとし、その周辺である関東広域エリアへの訪問・周遊について促すべく、当機構が都県などの事業参画者ごとの意向に基づき、その取りまとめ・調整を行い広域連携事業として実施した。

「TOKYO & AROUND TOKYO」の SNS アカウント(Facebook・Instagram)によるプロモーション事業では、前年度に引き続き「サステナブルツーリズム」をテーマに関東広域エリアの多様な観光コンテンツを対象市場に向けて情報発信を行ったほか、欧州富裕者層に対するコンテンツ造成事業や欧米豪市場に人気のある「歴史・伝統文化」と「トレイルウォーキング」をテーマにした事業などを実施した。

また、今年度も JNTO が主催する「ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業」国内視察受入において台湾教育関係者の招請旅行を連携先(埼玉県・栃木県・茨城県)と実施した。

(1) 欧米豪市場

① サステナブルツーリズムを訴求した TOKYO & AROUND TOKYO デジタル プロモーション事業

事業目的 世界の潮流となっている「SDGs」「サステナブルツーリズム」の概念を包含する関東広域エリアの多様な観光コンテンツを SNS(Facebook、Instagram)により対象市場(米・英・豪)に向けて発信する取組みとして前年度に引き続き 3 カ年計画の 2 年目として実施した。今年度は、1 都 1 0 県に加え新たに JR 東日本のコンテンツについても投稿を行い、関東広域エリアの多様な観光コンテンツを情報発信し、認知向上を図った。

事業内容 SNS(Facebook、Instagram)を活用したプロモーション

アウトプット 投稿回数 208 回(1 都 10 県×18 回、JR 東×10 回 FB・IG 共に) アウトカム Facebook リーチ数:3.081.566(KPI 達成率 102.7%)

フォロワー増加数:20,482 人(KPI 達成率 102.4%)

新エンゲージメント率(年間平均):4.95%(KPI 4.80%)

Instagram リーチ数:2,512,078(KPI 達成率 100.5%)

フォロワー増加数:10.070 人(KPI 達成率 100.7%)

いいね数:5.86% (KPI 総リーチ数の 5.50%)

エンゲージメント率 3.38% (年間平均 KPI:6.50%)

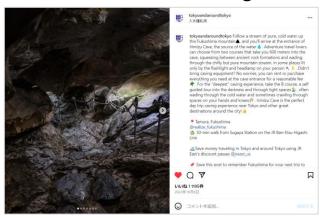
成を行い、受託事業者(IGLOOO社)の海外向け観光情報サ

その他実施施策 FB・IG 投稿済みコンテンツ(各都県1件)に関する記事作

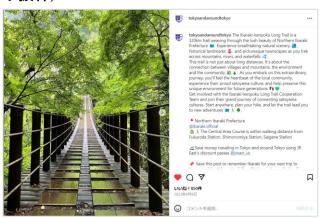
イト・VOYAPON(https://voyapon.com/)に掲載

【連携先】福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、JR 東日本、関東広域観光機構

2023 年度事業での投稿例(Instagram 投稿より抜粋)



入水鍾乳洞ケイビング(福島県)



茨城県北口ングトレイル (茨城県)



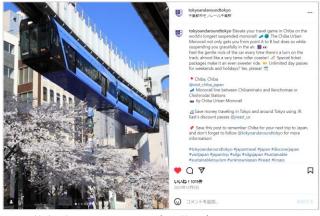
出流原弁財池と磯山弁財天(栃木県)



洞窟観音と徳明園 (群馬県)



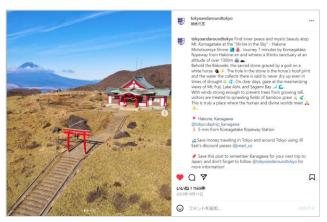
阿左美冷蔵 金崎本店(埼玉県)



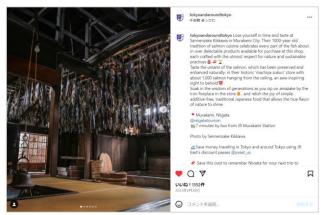
千葉都市モノレール (千葉県)



THE TOKYO TOILET (東京都)



箱根元宮(神奈川県)



千年鮭 きっかわ (新潟県)



FUJIYAMA ツインテラス(山梨県)



BYAKU Narai and レストラン嵓



鉄道博物館(JR 東日本)

② 地方誘客を意識した欧州富裕者層向け滞在コンテンツ造成のための調査事業

事業目的 観光立国推進基本計画においてインバウンド回復戦略として定められている「消費拡大」、「地方誘客」、「高付加価値旅行社の誘致」等取組を集中的に推進することを目的とし、当該旅行者のニーズに合致する新たな旅行商品の造成に繋げるための調査を実施した。

事業内容 欧州富裕者層をターゲットとした旅行商品造成のための調査として、旅行会社向けの招請ツアーを実施した。ツアーは、富裕者層の関心が高いとされる「サステナブルツーリズム」「アドベンチャーツーリズム」「ガストロノミー」などのコンテンツを活用したコース設定とし、招請者への詳細なアンケート調査により、富裕者層向けのコンテンツを整理・分析し新たな旅行商品の造成・販売を図った。

アウトプット 招請旅行会社 4 社 4 名 招請旅行中のアンケート実施、分析

アウトカム 訪問した観光コンテンツを含む旅行商品の造成

4 社×1 商品=4 商品

【結 果】 4社 8商品 25コース

【連携先】 茨城県・栃木県・埼玉県・関東運輸局観光部









③ 欧州富裕層に対する滞在コンテンツ造成事業

事業目的 協議会内エリアでは訪日外国人の旅行消費額の伸び悩みという課題を抱えて いる。この課題解決のため旅行消費額の多い富裕層の獲得が急務となってい る。遠方の国ほど1回あたりの消費額が高いこと、これまでのプロモーショ ン等でアプローチできていなかったエリアであることから欧州の富裕層を対 象とした事業を行った。

- 事業内容 ・欧州の富裕層を取り扱う現地旅行会社を招請し、連携先である1都2県 (東京・神奈川・長野) を廻る招請ツアーを実施。
 - ・招請ツアー中に詳細なアンケートを実施し、個別コンテンツに対する反応 を調査・分析・把握した。
 - ・調査結果を基に富裕層向けの旅行商品を造成販売。

アウトプット 招請旅行会社 各コース 4 社 4 名 招請旅行中のアンケート実施、分析

アウトカム 訪問した観光コンテンツを含む旅行商品の造成 4 社×1 商品 = 4 商品

【結 果】 4 社 8 商品 16 コース

【連携先】 東京都・神奈川県・長野県









④ 歴史トレイルウォーキング商品造成事業

事業目的 東京周辺エリアへの回遊促進を目的に、欧米豪市場を中心に人気テーマである 「歴史・伝統文化」と「トレイルウォーキング」という「学び」と「体験/アクティビティ」の両方の要素を兼ね備えたコンテンツを造成し、欧米豪市場からの 誘客を狙う事業を行った。

事業内容 ・訪日旅行とトレッキング等の SIT を取り扱う欧州の旅行会社を招請し、「歴史トレイルウォーキング」というテーマの下、連携先の1都2県(東京・埼玉・長野)に点在する歴史情緒のある旧街道や古道などを、歴史・伝統文化を深く学びながら歩くツアーを実施。

- ・招請ツアー中に参加者アンケートを実施し、訪問各スポットの評価を分析。
- ・参加旅行会社で「歴史トレイルウォーキング」をテーマにした旅行商品を造成 販売。

アウトプット 旅行会社招請 ドイツの旅行会社 2 社 2 名 参加者アンケートによる評価フィードバック

アウトカム 訪問した観光コンテンツを含む旅行商品の造成 2 社×1 商品以上=2 商品以上

【結 果】 2 社 5 商品 12 コース

【連携先】 東京都、埼玉県、長野県









(2) アジア市場(台湾)

① ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業

事業目的 連携先である埼玉県・栃木県・茨城県と、JNTO が主催するビジット・ジャパン 事業「2023 年度台湾における訪日教育旅行促進事業」国内受入視察において、 3 県への台湾からの教育旅行受入拡大を目的とした招請旅行を行った。

事業内容 台湾からの教育関係者6名の招請旅行の実施

日程: 2023年10月17日~10月21日 4泊5日

主な訪問先

埼玉県:寄居、長瀞、秩父、学校訪問

栃木県:宇都宮、学校訪問、農泊

茨城県:ひたちなか、大洗、水戸、学校訪問





Ⅱ. 旅行商品流通環境整備事業

観光庁の「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」を活用し、旅行商品、体験型・滞在 型コンテンツの販路開拓や予約システムへの旅行商品、体験型・滞在コンテンツ等の掲載を促進 する事業を行った。

(1) 欧米豪市場

① 上越新幹線沿線「リアルゴールデンルート(金の道)」でのアドベンチャーツーリズム

事業目的 コロナ禍により送客の途絶えていた北米・ハワイの旅行会社を対象に、関係の再 構築に向けたセールス訪問と現地旅行会社によるファムツアーを実施し、上越新 幹線「リアルゴールデンルート(金の道)」の更なる浸透を図るとともに、同ル ート及び都内から日帰り圏内にあるみなかみ町のアドベンチャーツーリズムを体 験してもらうことで、新規顧客層の開拓と販路の拡大を図った。また、招請者へ のアンケートを通じて課題抽出と需要調査を行い、コンテンツの磨き上げを図り 旅行商品(コンテンツ)の販売に繋げた。

事業内容・北米・ハワイの現地旅行会社との再構築のためのセールスコールの実施。

・北米・ハワイの現地旅行会社及び日本のランドオペレーターによる「リアルゴ ールデンルート(金の道) への理解促進と浸透を図るためのファムツアーの 実施。

・アドベンチャーツーリズムをテーマにしたリアルゴールデンルートツアー設 定。

アウトプット 北米・ハワイの現地旅行会社へのセールスコール 8社 北米・ハワイ現地旅行会社及び日本のランドオペレーターによるフ ァムツアー 4 計

> 北米・ハワイの現地旅行会社による旅行商品の掲載件数 各地域 2 社以上 計 4 社

アウトカム 予約者数 各社 20 名以上 計80 名 予約販売額 56,000 千円 (700 千円×80 名)

【結 果】 予約者数 750 名 予約販売額 464,080 千円

【申請事業】 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業

【連携先】 みなかみ町、新潟市、佐渡市

(2) アジア市場

① 信越圏(長野 新潟)バイシクルツアー旅行商品流通環境整備事業

事業目的 信越圏では年間を通じた観光消費の獲得のため集客の平準化に向け、サイクリングルートを活用して訪日外国人観光客をグリーンシーズンに取り込む必要がある。トップクラスの訪日市場である台湾及び今後市場拡大が見込まれるタイをターゲットに訪日のバイシクルツアー商品を訴求するため、ナショナルサイクルロードの認定に向けて取組む「Japan Alps cycling Road」を活用した北アルプスの山岳リゾートを軸に大地の恵みを満喫できるサイクル商品で商品流通を図った。また、各旅行会社の商品の販売、集客を監修するほか、OTAへの商品掲載によりターゲットの商品購入の機会を増やしチャンネル確保するなど商品の販売を促進した。

事業内容

- ・ファムツアー&商談会の実施(台湾・タイ市場)
 - ・商談会に向けたプレゼンテーション資料の作成
 - ・OTA の掲載に向けて、選定した旅行会社の顧客ニーズに合った信越圏の情報 収集
 - ・OTA での掲載・販売

アウトプット 旅行商品商談会 2 社×2 市場 計4社 OTA 掲掲載 2 社×2 市場 計4社から商品掲載数各1本以上。

アウトカム バイシクルツアー商品の予約数 2 社×2 市場×各 5 名 計 20 名 予約販売高 250 千円×5 名×1 コース×2 社×2 市場計 5,000 千円

【結 果】 当該地域への送客 310名 予約販売高 47,800千円

【申請事業】 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業

【連携先】 長野市、信州いいやま観光局、信越高原連絡協議会、信越自然郷





Ⅲ. 調査・マーケティング事業

前年度実施した「ソーシャルリスニング調査」のうち主要なテーマに関する観光コンテンツ (代表的な観光地)について詳細に分析した。またコロナ前とコロナ後の訪日外国人旅行者の投稿変化も分析・把握した。

① 関東広域ソーシャルリスニング深堀調査事業

- 事業目的 関東広域エリアにおけるインバウンド市場調査において、コロナ禍の影響による 多様化した訪日観光旅行に対する最新の状況やコロナ前とコロナ後の相違点を把 握するため「ソーシャルリスニング調査」を今年度も実施した。定量的(話題と なっているテーマの量の比較やトレンドの推移)かつ定性的(話題となっている 内容の性質)にデータを分析することにより、最新の状況を踏まえた各種事業の 起案・実施に役立てた。
- 事業内容 前年度実施した「ソーシャルリスニング調査」のうち主要なテーマに関する観光 コンテンツ (代表的な観光地) について詳細に分析する。具体的には「(歴史) 建築」「花・庭園」「温泉」など投稿件数が多く訴求力の高いテーマにおいて観光 資源やサービス別の投稿調査を実施した。
 - アウトプット 事前に決定した訴求力の高いテーマに関するキーワードを各都県から 募り、ターゲット国、地域別、テーマ別、都県別に閲覧可能な報告書 の作成。
 - アウトカム 各都県でのコンテンツ(旅行商品)の造成及び磨き上げや招請ツアー のコースの作成、海外への情報発信などインバウンド事業に活用して もらい「11事業」の事業設計に貢献。
 - 【結 果】 14事業に貢献(2024年2月29日現在)
 - 【申請事業】 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業
 - 【連携先】 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

最終報告書より一部抜粋(機構 HP に掲載)

調査概要 3

1. 調査の目的	関東広域エリア全体における親和性の高い観光テーマを発掘し、エリアの効果的なインパウンド施策へ反映させるため、 各市場のソーシャルメディア上の「地名(1都10県)×観光コンテンツ」に関する投稿を収集する。収集データはコロナ期 前から最新データまでを対象とする。 また、コロナ後の観光に求められる要素を調査するため、コロナ関連のトレンドワードのコロナ前後の話題量の推移の変 化と、旅行者によるコロナ後の日本旅行に関する声を紹介する。
2. 対象国	アメリカ、イギリス、オーストラリア、台湾(4カ国)
3. 対象言語	英語、台湾繁体字(2言語)
4. 対象メディア	Twitter、掲示板、フォーラム、ブログ、ロコミサイト、ニュースメディア 等 ※Twitterは100%データを分析対象とする
5. 対象期間	2019年4月1日~2023年9月30日
6. 使用ツール	ソーシャルリスニングツール「Brandwatch」
7. 調查項目 ※最終報告時	話題量とその推移 盛り上がった話題内容や投稿者情報 共起している(セットで語られる)キーワード 実際の旅行者の反応

【本調査結果レポート活用における注意事項】

- 本調査はソーシャルメディア・SNS上の投稿を受託者が調査し、投稿内容を纏めたものになります。投稿者本人の事実追認等により、実際の情報と異なる可能性がありますのでご留意ください。
- 投稿データの本文・写真の著作権は投稿者本人(もしくはSNSのプラットフォーム)に帰属いたします。ご利用の際には十分ご留意くださいますようお願いいたします。
- X(旧Twitter)等のSNS投稿をご活用の際には、URLから元投稿をご確認いただき、それぞれのSNSの利用規則に従って頂くようお願いいたします。

共通するポジティブ/ネガティブな要素

14

ポジティブな要素 美しい景色や体験への期待が高く、旅行者に向けた便利で正確な情報発信が求められる

- アクセスの良さと公共交通機関の利便性:アクセスの良さは評価要素として重要視され、公共交通機関のお得なバスや、複数の観光地を効率的に周遊できることが重宝されている様子がうかがえる。
- ・ 建築物の美しさへの高評価:MICE施設の建築や日本庭園の設計など、建造物の美しさが高く評価されている。
- ポップカルチャーへの注目:アニメ、漫画などに絡めたイベントやコラボレーション企画の開催、型地巡礼など日本のボップカルチャーは外国人が注目を寄せる要素として大きい。
- 季節に応じた景色への期待:日本の季節の移り変わりに応じた景色への期待が高い。桜を代表とした四季折々の花や紅葉は多く語られ、日中だけでなく没日後のライトアップも注目ボイントの一つ。
- 自然と歴史、文化の組み合わせへの評価: 都心部を離れた観光地では都会の障礙を離れ、美しい自然の中でその土地特有の風景、寺社仏閣、歴史、文化を体験できることが評価要素となっている。
- 食事体験とご当地グルメの重要性:地元の新鮮な食材を使用した食事体験やご当地グルメなど、食は観光要素の一つとして重要視されている。
- グループ全体で楽しめるアクティビティの需要:タトゥーフレンドリーな温泉、混浴、こどもと楽しめるアクティビティなど、グループ全員で楽しめるコンテンツの需要がみられる。
- 外国語での情報発信の効果:施設の営業や交通情報の運転状況など、多言語での正確な情報発信は旅行者にとって非常に需要が高い。また、寺院の外国語発信の公式Facebookをきっかけに訪問したという投稿があり、潜在的な旅行者の獲得につながっている。

ネガティブな要素 限られたアクセスは大きな課題であり、混雑や予約制度に混乱する声も

- 限られたアクセスへの不満:電車やバスの本数の少なさや乗換の多い公共交通機関に訪問を躊躇う投稿がみられる。交通機関の運行増加に限らず、最短ルートや運行時間など適切な交通手段の情報をわかりやすく事前に明示・周知することで、利用者は計画性のある旅行ができ、情報の混乱によるストレスが軽減されると考えられる。また、駐車場は無料で利用できることや電動自転車の貸し出しについて言及している投稿もみられた為、今後の課題解決のヒントになると思われる。
- オーパーツーリズムの心配:人気観光施設や飲食店などでは混雑による待ち時間に関する言及などがあった。混雑緩和のために導入される予約制度に馴染みのない外国人旅行者もいるため、事前の情報発信による周知が大切である。
- 放射能の影響を心配する声も:福島をはじめとして、日本の食品の安全性を心配する声がみられる。特に2023年8月に福島原発処理水が海洋放出されると海 産物を中心に海外輸出が規制されるなど、緊張が高まった。安全性を卒れ強く発信し続ける必要があると考えられる。
- その他、オフシーズンの施設の営業時間が公式サイトでは多言語発信が無く混乱した声や、キャッシュレス非対応やパリアフリーなど施設面の配慮、各観光地同士のアクセスが悪く周辺にアトラクションがないことなどがネガティブな意見としてみられ、ハード、ソフト面共に改善の余地がある。

IV. 観光再始動事業

地方公共団体、登録 DMO 及び民間事業者が実施する、新規性が高く特別な体験コンテンツ・イベント等の創出や体験コンテンツの高付加価値等のコンテンツ造成について、販路開拓まで一貫した支援を実施する観光庁の事業。

① 正倉院宝物を受け継ぐ~明治天皇に始まる宝物模造の歴史~

事業目的 年間 1000 万人の参拝者を誇る明治神宮は訪日外国人も多く訪れる人気 スポットである。当事業では、明治神宮内のミュージアムにて、奈良正 倉院の宝物再現模造品を展示するとともに、インバウンド向け操作パネ ル等を使った明治神宮の紹介を行うことで、明治神宮を訪れた訪日外国 人が日本の歴史を学び楽しんでいただく機会を作ることを目的とした事 業を行った。

事業内容 明治神宮ミュージアム内にある企画展示室を活用し、正倉院宝物再現 模造品の展示をおこなった。特別展示の入館料を設定し、国内外の誘客 をおこなった。

- ・正倉院に関する概要・歴史の説明。
- ・各展示物の説明(パネル設置、多言語音声ガイド設置)

開催期間 令和 5 年 12 月 23 日 (土) ~令和 6 年 2 月 25 日 (日)

事業成果 総入場者数 13,689 人(うち外国人入場者数 2,782 人)

【申請事業者】一般計団法人 関東広域観光機構

【主催者】 「正倉院宝物を受け継ぐ」展実行員会

【特別協力】 明治神宮

【協 力】 読売新聞社、TOPPAN、乃村工藝社、リクルート ABCアーク、ヤマト運輸

【監 修】 宮内庁正倉院事務所

【後 援】 国土交通省関東運輸局 東京都



V. その他自主事業

当機構の自主財源により、以下の事業を実施した。

① 関東広域観光機構 英語サイト・リニューアル事業

- 事業目的 訪日観光客数がコロナ禍以前の水準に回復している状況の中、関東広域エリアへの誘客を図る上で重要な情報発信ツールである観光サイトについて、その機能及び内容の充実を図るべく、これまでのサイト(tokyoandaroundtokyo.com)の機能及び掲載内容についてゼロベースで見直し、広域 DMO サイトとして関東広域エリア内の旅マエ・旅ナカ情報を一元的且つ効果的に発信可能とするプラットフォームの基盤整備を行った。
- 事業内容 旧サイトの改修・手直しではなく、新たな取得により新規のプラットフォーム を構築した。(2024 年 3 月 29 日稼働開始 https://greatertokyo.jp/) 具体的な内容については、以下の通り。
 - ・ コンテンツの新規掲載・更新を随時行う事が可能となるコンテンツ・マネジ メント・システム(CMS)の導入
 - ・ 選択した地点間の経路検索・提案機能の導入
 - ・ エリア内の鉄道路線やフリーパス等 鉄道関連情報ページの充実
 - ※1 ローンチ時点の掲載コンテンツは、現行サイトの掲載内容を移植
 - ※2 新規サイトのコンテンツ記事制作事業を 2024 年度中に実施(広域連携事業)
 - ※3 新規サイトの機能拡充事業を実施(自主事業)

VI. 会議・セミナー等活動

(1) 総会

<第6回定時社員総会>

日 時 2023年6月7日(水)14:00~

場 所 都道府県会館 401会議室

議 題 2022 年度事業報告・決算報告(案)について

2023年度事業計画・収支予算(案)について

理事及び監事の選任(案)について

協議会の定款の改正(案)について



総会の様子



記念撮影



田川代表



㈱交通新聞社の記事より

<第4回臨時社員総会>

日 時 2023年8月1日(火)

場 所書面審議

議 題 理事の選任(案)について

<第5回臨時社員総会>

日 時 2024年2月2日(金)

場 所書面審議

議 題 理事の選任(案)について

(2) 理事会

<第1回理事会>

日 時 2023年5月17日(水)14:00~

場 所 Web 会議

議 題 2022年度事業報告・決算報告(案)について

2023年度事業計画・収支予算(案)について

理事及び監事の選任(案)について

協議会定款改正(案)について

第6回定時社員総会の招集(案)について

<第2回理事会>

日 時 2023年6月7日(水) 15:00~

場 所 都道府県会館 407 会議室

議 題 代表理事の選定について

<第3回理事会>

日 時 2023年7月12日(水)

場 所書面審議

議 題 理事の選任(案)について

理事会規則、社員入会規則の改定、規約の廃止(案)について

<第4回理事会>

日 時 2023年12月27日(水)

場 所書面審議

議 題 理事の選任(案)について

会計規程の改定、財務規程の廃止(案)について

<第5回理事会>

日 時 2024年2月28日(水)

場 所書面審議

議 題 2023 年度事業報告・決算報告(案)について

2024 年度事業計画・収支予算(案) について

組織規程、ワーキンググループ設置要綱の改定、事務局規程の廃止(案)について

第7回定時社員総会の招集(案)について

(3) 都県会議

<第1回都県会議>

日 時 2023年5月9日(火)14:00~

場 所 Web 会議

議 題 2022 年度事業報告・決算報告(案)について

2023 年度事業計画・収支予算(案) について

協議会の定款改正(案)について

2023 年度連携事業・広域周遊促進事業等の進捗状況について

<第2回都県会議>

日 時 2023年7月25日(火)14:00~

場 所 Web 会議

議 題 2023 年度事業進捗状況について

2024 年度連携事業の検討について

次期ポータル HP の検討について

<第3回都県会議>

日 時 2023年11月7日(火)14:00~

場 所 Web 会議

議 題 2023 年度事業進捗状況について

2024 年度事業進捗・申請状況について

<第4回都県会議>

日 時 2024年1月10日(水)14:00~

場 所 Web 会議

議 題 2023 年度調査事業ソーシャルリスニング最終報告

2024 年度事業進捗・申請状況について

<第5回都県会議>

日 時 2024年2月27日(火)14:00~

場 所 Web 会議

議 題 理事会報告資料の最終確認

議 題 2023 年度事業報告・決算報告(案)について

2024 年度事業計画・収支予算(案)について

組織規程、ワーキンググループ設置要綱の改定、事務局規程の廃止(案)について

(4) 主催セミナー

<関東広域観光機構主催 WEBセミナー2023>

1. テーマ 「米国の最新旅行動向と訪日インバウンド消費行動について」

2. 開催日時 2023年12月14日(木)14:00~16:00

3. 開催形式 オンラインセミナー (参加無料、ZOOM利用)

4. 参加者数 178名

5. 開催者 主催:一般社団法人 関東広域観光機構

後援:国土交通省 関東運輸局

6. セミナープログラム

講演1「米国市場最新動向」

日本政府観光局(JNTO)ロサンゼルス事務所長 田中陽子(たなかようこ)氏





講演2「観光における消費行動に関する一考察」 東洋大学 国際観光学部 国際観光学研究科 准教授 徳江順一郎(とくえじゅんいちろう)氏





(5) 部外セミナー等への協力

< JNTO インバウンド研修会(初級) 関東開催>

時 2023年11月28日(火)13:00~

所 JNTO 本部大会議室

参加者 関東エリア内の自治体・DMO・観光協会等の業務経験の浅いスタッフ

講演内容 インバウンドに係る動向と JNTO の取組(JNTO)

広域関東におけるインバウンドの現状と取組について(関東運輸局) 広域連携のすすめ~インバウンド誘客を広域エリアで取り組む意義(小堀専務理事) サステナブルツーリズムの最新動向と JNTO の取組について(JNTO)







個別相談会

<サステナブルツーリズム・コンテンツ視察>

時 2024年1月24日(水) 10:00~16:00

- 視察個所 ① THE TOKYO TOILET JR恵比寿駅周辺の4つの公衆トイレ
 - ② メズム東京、オートグラフ コレクション (ホテル)
 - ③ 浜離宮恩賜庭園

参加者 JNTO 本部職員、関東運輸局職員、関東広域観光機構職員 合計 10 名



恵比寿公園トイレ



恵比寿東公園トイレ



浜離宮恩賜庭園 松の御茶屋

<JNTO 海外事務所スタッフ研修会>

日 時 2024年1月30日(火)15:00~15:50

開催形式 オンライン

参加者 JNTO アジア・豪州エリアの海外事務所現地職員

テーマ 関東広域エリアの観光コンテンツのアップデート情報

講師関東広域観光機構小堀専務理事









<マーケット研究会>

1. テーマ 「英国の最新インバウンド動向について」

2. 開催日時 2024年2月15日(金)17:00~20:00

3. 開催形式 オンライン (ZOOM利用)

4. 参加者数 52名

5. 共 催 観光庁、JNTO、関東運輸局

6. プログラム 第1部: JNTO ロンドン事務所地主所長の講演

第2部:地主所長との個別相談会





(6) プロジェクト等への協力

<2025 大阪・関西万博>

- ・全国 10 の広域 DMO 等が参加する「万博を契機とした観光推進ネットワーク会議」の構成メンバーとして、全体会議及び各ワーキング会合に参加。
- ・内閣官房国際博覧会推進本部事務局が取り組む「大阪・関西万博を契機とした観光誘客事業」 に協力し、エリア内の万博テーマに親和性のあるコンテンツの収集・情報提供に協力。

<江戸街道プロジェクト>

・関東運輸局が主導する「江戸街道プロジェクトアドバイザリー会議」の構成メンバーとして、 3回の会合に出席。当機構としては、欧米豪を中心に人気の高い「歴史・異文化体験」と「ウォーキング」の両方の要素を兼ね備えた「歴史トレイルウォーキング」コンテンツ造成事業に取り組んでいる。

<江戸料理体験セミナー in 日本橋>

日 時 2024年2月14日(水)11:30~14:00

場 所 江戸料理 奈美路や

プログラム 「江戸料理による地域の観光振興」

「江戸料理体験」など





(7) その他の参加会議・参加イベント

<東北域内 DMO 会議・JNTO インバウンド研修会(初級)東北開催>

日 時 2023年6月29日(木) 13:30~

場 所 東北観光推進機構会議室

議 題 2023 年度東北観光推進機構事業説明

東北運輸局からの情報提供

インバウンド最新情報とアドベンチャートラベルの取組紹介



< JNTO インバウンド研修会(初級) 北陸信越開催>

日 時 2023年7月19日(水)13:00~

場 所 新潟駅南貸会議室 KENTO Room F

議 題 インバウンドに係る動向と JNTO の取組紹介

北陸信越運輸局の取組紹介~サステナブルな観光コンテンツの強化~

中央日本総合観光機構が取組むデータマーティング

JNTO におけるアドベンチャートラベルの取組紹介

JNTO 職員によるコンサルティング



<第3回 広域連携 DMO 情報交換会 in 大阪>

日 時 2023年8月25日(金)15:00~

場 所 関西観光本部会議室

参 加 北海道観光振興機構、東北観光推進機構、関東広域観光機構 中央日本総合観光機構、関西観光本部、観光庁地域振興部

議 題 大阪・関西万博会場視察(12:30~) 各広域連携 DMO の現状課題の共有

※第1回は2022年7月関東(横浜)、第2回は2022年11月東北(仙台)で開催。

<関東広域エリアDMOフォーラム2023 in 八ヶ岳 関東運輸局主催>

月 日 2023年9月27日(水)~28日(木)1泊2日

場 所 セミナー:女神の森セントラルガーデン「陽樹」コミュニティホール (小淵沢)

交流会 :ロイヤルホテル八ヶ岳

視察 : 北杜市オオムラサキセンター

議 題 講演「米国における DMO の現状」Gabriel Seder 氏 他

パネルディスカッション「DMO 間の連携強化の必要性について」







Gabriel Seder 氏の講演



北杜市オオムラサキセンター

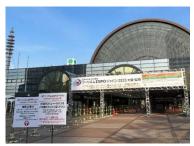
<ツーリズム EXPO ジャパン2023大阪・関西>

月 日 2023年10月26日(木)~27日(金)業界向け 2023年10月28日(土)~29日(日)一般向け

場 所 インテックス大阪

内 容 ・10月26日(木)インバウンド出展ブース視察 ※ジャパンショッピングツーリズム協会(JSTO)ブースに当機構の パンフレットを置いていただきました。

・10月27日(金)日本観光振興協会 会議 「令和5年度 都道府県・政令指定都市観光協会(連盟)会長等会議」



インテックス大阪



JSTO ブース



日本観光振興協会 会議

<JNTO FAMトリップ同行・商談会参加>

月 日 2023年11月10日(金)

日 程 下記の米国とカナダの招請事業の最終日のみ同行・参加

09:00 三井ガーデンホテル横浜みなとみらいプレミア インスペクション

10:00 三渓園視察(昼食)

14:00 パシフィコ横浜にて商談会、その後夕刻より交流会

参加 【米国】被招請 6 名 + ガイド 1 名 + 添乗員 1 名 + JNTO1 名 + ADK2 名 = 計 11 名 【カナダ】被招請 7 名 + ガイド 1 名 + 添乗員 1 名 + JNTO1 名 + ADK2 名 = 計 12 名







三渓園視察

交流会(乾杯の挨拶 田中事務局長)

記念撮影

< 北陸信越管内 DMO 意見交換会>

月 日 2023年11月30日(木)~12月1日(金)1泊2日

場 所 セミナー:あてま高原リゾートベルナティオ別館2階フィオリア(十日町)

視察 : 雪国観光圏における広域周遊1日エクスカーション

議 題 講演「今、旅行者が何を求めているのか?」高橋佑司氏 他

パネルディスカッション

テーマ1「旅行客が求めていることとDMOにできること」

テーマ2「地域自らが稼ぐ仕組みを作るDMOになるために」



観光部長のご挨拶



セミナーの様子



八海山酒造「雪室」視察

<第4回 広域連携 DMO 情報交換会 in 名古屋>

日 時 2023年12月15日(金)15:00~

場 所 中央日本総合観光機構会議室

参加 北海道観光振興機構、東北観光推進機構、関東広域観光機構、 中央日本総合観光機構、関西観光本部、せとうち観光推進機構、 山陰インバウンド機構、四国ツーリズム創造機構、九州観光機構、 沖縄観光コンベンションビューロー、観光庁地域振興部

議 題 ジブリパーク視察(12:30〜) 各広域連携 DMO の現状課題の共有







会議の様子

ジブリの大倉庫

ジブリの大倉庫

<DMO 全国会議>

日 時 2024年2月6日(火) 13:00~15:00

場 所 中央合同庁舎 2 号館地下 2 階講堂

参加者 登録 DMO、候補 DMO、自治体

パネルディスカッション:モデレーターJTIC.SWISS 代表 山田桂一郎氏

各 DMO による PR



デービッド・アトキンソン氏による講演



関西観光本部の万博 PR

<全国商工会議所 観光振興大会 in 水戸>

月 日 2024年2月21日(水)~22日(木)

場 所 水戸市民会館

※全体交流会はアダストリアみとアリーナで開催

テーマ 自分の道を見つける旅へ。

~刺激を求めての観光から、あなたの答えを見つける観光への転換~

内 容 第1日目:第3分科会に参加

「動かす道~アドベンチャーツーリズムに見る着地型観光の未来~」

第2日目:全体会議



全体交流会(約1,500人参加)



第2日目全体会議(約2,000人参加)

(8) その他後援・共催

<JiF 国際観光立国フォーラム in Tokyo 2023>

日 時 2023年11月16日(木)

場 所 ハリウッド大学院大学

JiF国際観光立国フォーラムin Tokyo 2023 の共同開催

◎ 関東運輸局

インパウンド関係者への江戸街道プロジェクトの認知度向上と機運輸成、ネットワーク強化を図るため、「インパウンド大復活!地域 分散化戦略と製光DXの未来を考える〜街道を活用した製光とともに〜」と題したフォーラムを(一社)日本インパウンド連合会(JiF)と 共同開催した。フォーラムには、江戸街道プロジェクト委員にもご登壇いただき、江戸街道プロジェクトについてそれぞれの委員の立場 からご紹介いただくとともに、街道観光を活用した地域の連携強化について呼びかけた。

日 時: 令和5年11月16日 (木) 10:0~17:25 期東運輸局、ハリウッド大学院大学 開催形式:現地・オンラインのハイブリッド形式 後 援・一般社団法人 日本インパウンド連合会、関東運輸局、ハリウッド大学院大学 開催形式:現地・オンラインのハイブリッド形式 伊本政府観光局 (JNTO)、東京都港区 プログラム (専門部会) 第一セッション・地方誘答戦路》 高端 信司 氏 (江戸街道プロジェクトアドバイザリー委員) 他 第二セッション・地域の影内層に製売が開始。 高橋 信司 氏 (江戸街道プロジェクトアドバイザリー委員) 他 第二セッション・地域の影内層に製売が開始。 高橋 信司 氏 (江戸街道プロジェクトアドバイザリー委員) 他 第二世の大郷南洋ロブロジェクトアドバイザリー委員 法関議演引 日前退を活用した程式に対策 第一セッシュン は関係 選手 氏 (新春 (新春)年 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 (大野市) 東京 市 (大野市) 東京 (大



参加者

会場参加者数 : 117名 オンライン参加者数:109名 合計 : 226名

 bhodhit Music Fes. in Autumn>

特別シンポジウム② 「量(訪日客数)から質(真の日本ファンづくりと高付加価値化)への転換」 岡村 清二(国土交通省 関東運輸局観光部長)他

日 時 2023年11月22日(木)

場 所 Spotify O-WEST(渋谷)

内 容 チャリティーコンサート





Ⅲ. 庶務関係

会員入退会状況

- · 入会 11件
- ·退会 2件

(2024年3月31日現在)